

1 町の概要（H30年度）

人口	37,745 人
保護率	0.3 %

※保護率及び支援状況調査については、津幡町を所管する福祉事務所（石川中央保健福祉センター）の実績。

2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当(件)	一月当たり	4.2
プラン作成件数人口10万人当(件)	一月当たり	0.3
就労支援対象者数人口10万人当(件)	一月当たり	0.3
就労・増収率(%)		-

3 実施方法について

実施方法	委託（単年度随意契約） （町が実施する「ひとり親家庭の学習支援事業」と一体実施）
事業費	1,002千円（H30年度） ※ひとり親家庭の学習支援事業含む総事業費：1,976千円
理由（委託）	（委託先：町社会福祉協議会） ○社協が地域で実施する児童福祉や低所得者福祉に係る取組等を通じ、地域の実状を把握しているため、事業の対象者やその世帯の状況に応じた繊細な対応が可能であること ○社協が持つ地域のネットワークを活用し、教員免許保持者等の学習サポーター（支援員）の確保が期待できること
事業概要	○下記の世帯の小学生、中学生、高校生を対象に、通所型の学習支援を実施。 ①生活保護受給世帯、②就学援助受給世帯、③教育費負担軽減奨学金受給世帯 ○事業所の担当者1名、学習サポーター16名(H30年度) ○上記①～③のほか、町による「ひとり親家庭の学習支援事業」の対象となる児童扶養手当受給世帯を加え、同一の日程で学習教室を開催。 ＜開催日程(H30年度)＞ ・小学生：7月～8月に5回(2h/回) ・中高生：8月～12月に20回(2h/回) ○各自の自習の中で不明な点に支援員(教員免許保持者や大学生等)が答えるほか、生活に関する相談にも応じる。

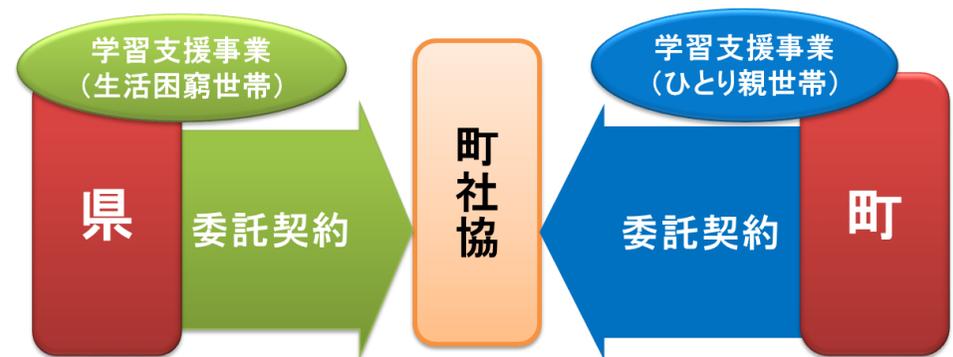
4 事業実績（H30年度）

参加者数 (うち生活困窮世帯)	うち小学生 (うち生活困窮世帯)	うち中高生 (うち生活困窮世帯)	高校等進学率 (中学三年生の実績)
22名 (9名)	9名 (2名)	13名 (7名)	100%

5 事業実施のポイント

町が実施する「ひとり親家庭の学習支援事業」との一体実施

人口の少ない郡部において、町の「ひとり親家庭の学習支援事業」と同一の日程・内容で一体実施することで、一定の参加者を確保するとともに、事業費の負担軽減を図っている。



6 取り組んで良かったこと

- 学習面だけでなく、居場所づくりの支援や将来の進路等を考える機会としての効果が見られた
例) ・学校に通っていないひきこもりの子どもが教室に参加し、定期的な本人の状況確認ができたなど、居場所づくりの支援の効果があつた
・教員免許保持者による個別の面談の実施や、休憩中の大学生の支援員との交流を通じて、将来を考えるきっかけができたとの意見が聞かれた
- 町が事業に加わることで、町教委を通じた各学校との連携体制の構築が図られた(教員への事業の周知や学校行事の日程の情報提供等)